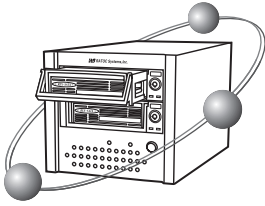


SA-DK2-NAS セットアップガイド

2011年 4月 第1.1版

RATOC Systems, Inc.



※記載している内容は、本紙制作時のものです。フォルダー名、ファイル名、画面などが変更されている場合があります。予めご了承ください。

※本紙ではハードディスクをHDDと略することがあります。ご了承ください。

はじめに

●本紙では、本製品の簡単な導入方法を 1.~5.のステップで説明します。

●詳細は、製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアルを参照ください。

※ユーザーズマニュアルはPDF形式です。ご覧になるにはAdobe Readerが必要です。

[はじめに]: 製品の概要を説明

[導入編]: 製品の導入手順を説明

[操作編]: ユーザー設定や共有フォルダー、メール通知設定などを説明

[異常時の対応]: RAID1使用時にHDDが故障した場合の対処法を説明

[運用編]: デイリーバックアップなど、より便利な活用方法を説明

[こんなときには]: トラブルシューティングと使用頻度が少ない操作を説明

[リファレンス]: 管理設定メニューを画面ごとに説明

●本製品は、以下のモードで使用することができます。

種類	特長	図解と各モード構成時の利用可能容量 (☐1TBで計算した場合)	フォーマット形式
RAID1モード (ミラーリング)	HDDを複製し、信頼性が向上。 1台のHDDが故障してもデータは損失しない。	1TB※	EXT3
JBODモード (ラージ)	2台のディスクを結合し、一つの大容量ボリュームを構成。 HDD故障時は、データを損失。	2TB	EXT3
シングルモード	HDD1台で使用。 (容量が足りなくなったら、あとから1台追加も可能。)	(1TB) マスター 1TB	EXT3 FAT32 NTFS※

ケース本体の下段がマスター、上段がスレーブディスクに区分されます。 ※スレーブ上段のみ使用可能。

●すべてのモードで、HDDを交換できます。

本製品はリムーバブルモデルです。HDDを装着した交換用トレイを必要台数用意し、デイリーバックアップやプロジェクト別の利用、空き容量が無くなったときの交換が手軽におこなえます。

⇒交換手順は、製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアル「運用編」を参照ください。

⇒追加の交換用トレイはオプション品です。詳しくは、製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアルまたは弊社Webにてオプション品のご案内を参照ください。

■動作環境

LANインターフェイスを搭載したWindows PCまたはMac

・ Windows 7/Vista/XP/2000, Server 2008R2/2008/2003R2/2003
※64ビット版にも対応しています。(Windows 2000除く)

・ Mac OS X 10.4以降 ※Mac OSのバックアップ機能(Time Machine)は使用できません。

※本製品の設定画面を開くために、Internet Explorer 6.0以上または、Safari 3.0以上が必要です。

※本製品は、ルーターやハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルで接続します。
(1000BASE-T/1000BASE-TX/10BASE-T対応)

※Jumbo Frame 16000Byte対応のハブには接続できません。

■対応USB機器

USBハードディスク、USBプリンター(複合機含む)、USBメモリ、USBカードリーダー

※USBプリンター複合機はプリンター機能のみ対応します。

⇒接続手順は、製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアル「運用編」を参照ください。

■対応ドライブ

SATA仕様 3.5インチハードディスク、2.5インチハードディスク

※80GB以上2TB以下のディスク容量に対応します。

●お願い

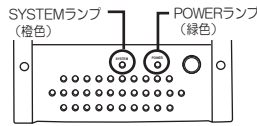
本製品を正しく安全にお使いいただくため、製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアル(PDF形式)をお読みください。

●パッケージ内容をご確認ください

- ケース本体(トレイを含む)
- LANケーブル
- ACケーブル
- ロックキー×4本
- インテックスシール×2枚
- コネクタガード×2個
- 3.5インチHDD取付ネジ(インチネジ)×8本
- 2.5インチHDD取付ネジ(ミリネジ)×4本
- ソフトウェアCD-ROM
- セットアップガイド(本紙)
- 保証書

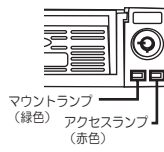
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

【システムランプ】



SYSTEMランプ (橙色)	POWERランプ (緑色)	状態説明
消灯	消灯	本体電源OFF
点滅	点灯	システムの起動処理中
点灯	点灯	正常動作中

【トレイランプ】



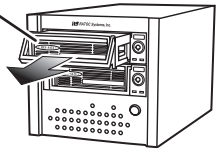
マウントランプ (緑色)	アクセスランプ (赤色)	状態説明
消灯	消灯	本体電源OFFまたはHDDアンマウント時
点滅	点滅	HDD異常発生時
点灯	消灯	HDDアイドル中
点灯	点滅	HDDアクセス中
点滅	点灯	リビルド中 (RAID1使用時のみ)
点滅	消灯	リビルド失敗

1. ハードディスクの取り付け

1-1. トレイ取り外し用ハンドルを持ち、“交換用トレイ”を矢印の方向へ引き出します。

👉 下段トレイのトレイ取り外しハンドルが前に引きづらいことがあります。下向きに力が加わらないよう手前に軽く引いてください。

交換用トレイ

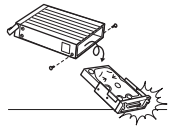


1-2. SATAハードディスクをトレイに取り付けます。

⚠ 注意

●ネジ止めやネジ外しをおこなう際に、スリーブからハードディスクを装着したユニットが滑り出る恐れがあります。落とさないようご注意ください。

●ハードディスクの取り付け・取り外し作業は、平らな場所に本製品を置いて作業してください。



① スリーブ後方の2箇所ものネジを外します。

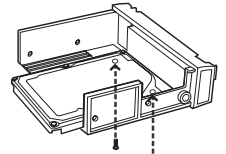
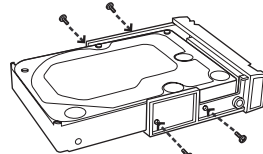
② HDDマウントユニットを取り外します。

③ HDDマウントユニットのコネクタとハードディスクを接続します。

④ ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止めます。

3.5インチ ハードディスクの場合

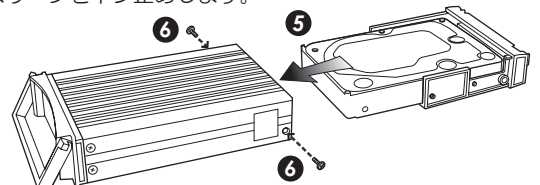
2.5インチ ハードディスクの場合



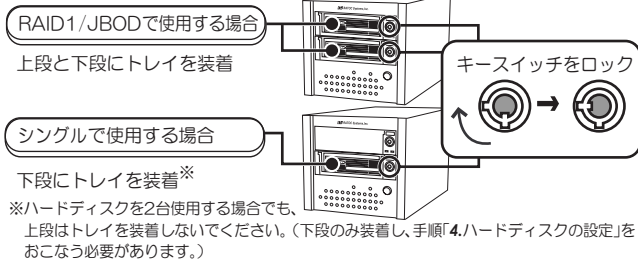
👉 規格外の2.5インチハードディスクで、ネジ穴が合わずネジ止めしづらい場合は、ハードディスクを多少動かし、ネジ穴のずれが少ない側からネジ止めします。

⑤ HDDマウントユニットを元の位置に戻します。

⑥ スリーブをネジ止めます。



1-3. トレイをケース本体に装着し、キースイッチをロックしてください。

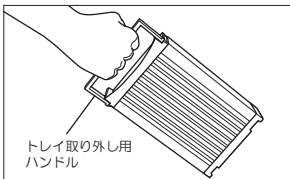


“交換用トレイ”ご使用上の注意事項

- 本製品のトレイは、REX-SATAリムーバブルケース用です。REX-Dockシリーズおよび他社製品には使用できません。
- トレイに内蔵するハードディスクは、衝撃にきわめて弱いものです。トレイの取り扱いは充分ご注意ください。

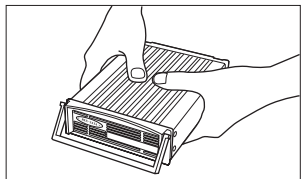
✕ 間違った持ち方

トレイ取り外し用ハンドルが外れたり、破損する可能性があります。



○ 正しい持ち方

トレイを誤って落下しないよう、本体をしっかりと支え、慎重に扱ってください。



トレイ取り外し用ハンドルはトレイをSATAリムーバブルケースから引き出すために設けられたもので、手さげ用に使うことはできません。

- 取り付け作業中および使用中に生じたパソコンあるいはハードディスクの破損や故障、データ消失に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

2. 本製品の設置

⚠ 注意

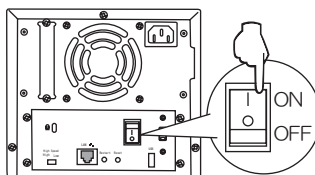
- 必ずLANケーブルを先に接続してください。LANケーブルを接続する前に電源を入れると、正しくネットワークに接続できません。
- 本製品を複数台設置する場合は、1台ずつ「2.本製品の設置」から「4.ハードディスクの設定」までの作業をおこなってください。一度に接続すると、初期のホスト名(sadk2)が同じため、手順3-1. ②で区別がつかいません。

2-1. ネットワーク内のパソコン、ルーターなどが正常に動作していることを確認します。

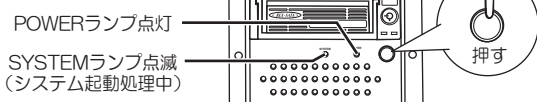
2-2. 図の手順で接続します。

- LANケーブル（添付品）を接続
ルーターやハブなどのネットワーク機器へ
- FANスピードを選択
FANスイッチ
High:冷却性重視
Low:静音性重視
- ACケーブル（添付品）を接続
コンセントへ

2-3. 背面の電源スイッチをONにします。



2-4. 前面の電源ボタンをONにします。



2-5. システムの起動処理が完了すると、SYSTEMランプは点滅から点灯に変わります。

※本製品背面LANポートのLEDが点滅します。

3. 本製品の設定画面を開く

3-1. 同じLANに接続されているパソコンまたはMacから、LAN経由で本製品の設定画面を開きます。

Windowsの場合

- 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入し、【FindSA-DK2-NAS.exe】をダブルクリックします。

- 自動的に検索結果が表示されます。
※複数台検出した場合は、複数台がリスト表示されます。

①リスト表示から“sadk2”を選択
※表示されない場合、「再検索」ボタンをクリック。



②【SA-DK2-NASの設定】をクリック

Mac OSの場合

- Webブラウザ(Safari)を開きます。

ブックマークをクリック

- ①“Bonjour”をクリック

②“sadk2”をクリック

3-2. ログインします。



3-3. 設定画面が表示されました。



次回以降の設定画面の開き方

IPアドレスが分かっている場合、上記手順のほかに、Webブラウザの“アドレス”欄にIPアドレスを入力し、設定画面を開くこともできます。



裏面「4.ハードディスクの設定」へ進んでください。

裏面へつづく

4. ハードディスクの設定

4-1. 使用モードを設定します。

注意

設定を完了するには、フォーマットが必要です。ハードディスク上のデータは消去されますので、ご注意ください。

RAID1(ミラーリング)/JBOD(ラージ)の場合

1 管理設定メニューより【ディスク設定】→【RAID設定】を開きます。

2 RAIDレベルを選択し、RAIDシステムを作成します。



3 確認メッセージが表示されます。【OK】をクリックします。

4 RAIDの作成が開始されます。終了すると、自動的に本製品のシステムが再起動されます。ログイン画面に戻りますので、再度ログインしてください。

※Safariを使用している場合、自動でログイン画面へ戻りません。画面の指示に従い【ログイン】ボタンをクリックしてください。

シングルの場合

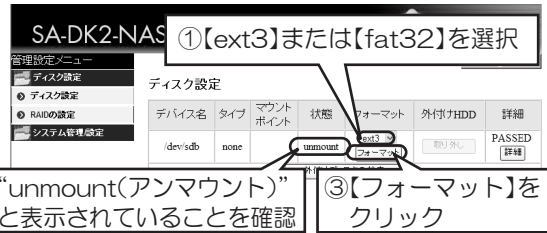
1 ケース本体の下段に、トレイが装着され、キースイッチがロックされていることを確認します。



※間違えて上段だけに装着した場合は、本製品をシャットダウン(手順は本紙右上参照)し、本紙表面の手順1-3.からやり直してください。ケース本体の上段だけに装着するとハードディスクを認識しません。

2 管理設定メニューより【ディスク設定】→【ディスク設定】を開きます。

3 フォーマット形式を選択し、フォーマットを実行します。



4 確認メッセージが表示されます。【OK】をクリックします。

5 フォーマットが開始されます。終了すると、自動的に本製品のシステムが再起動されます。ログイン画面に戻りますので、再度ログインしてください。

※Safariを使用している場合、自動でログイン画面へ戻りません。画面の指示に従い【ログイン】ボタンをクリックしてください。

2台目のハードディスクがある場合は、続いて以下の作業をおこないます。

6 本製品をシャットダウンします。(手順は本紙右上参照)

7 ケースの上段にトレイを装着後、キースイッチをロックキーし、本紙表面の手順2-4.(電源ボタンON)から上記手順5までを繰り返します。

※2台目のハードディスクフォーマット終了後の再起動はおこなわれません。再起動は不要です。次の手順へ進んでください。

4-2. 管理設定メニューより【クイックセットアップ】→【ウィザード】をクリックします。

ウィザードにて、本システムの環境設定が簡単におこなえます。また、ウィザードを使用せずに、個別に設定することも可能です。
⇒個別設定の詳細は、製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアル「リファレンス」参照。

4-3. ウィザードの指示に従い環境設定します。

1 言語の選択

ステップ 1/6

1 言語を選択

2【次へ】をクリック

2 新しいパスワードの設定

1 ユーザー名“admin”のパスワードを変更する場合は入力

2【次へ】をクリック

注意

●パスワードは忘れないようしっかり管理してください。設定したパスワードを忘れた場合、出荷時の設定に戻す必要があり、ハードディスクの中身も消去されます。詳しくは製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアル「こんなときは」を参照してください。

3 ホスト名の設定

1 ホスト名は必ず変更
例は“ratic-server”

2【次へ】をクリック

4 インターネットプロトコルの設定

1 本製品のIPアドレスと使用するDNSサーバーアドレスを設定
※例は自動取得の場合です。固定にする場合は、アドレスを入力してください。

2【次へ】をクリック

5 時間の設定

1 日付、時間、タイムゾーンを設定

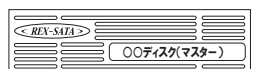
2【次へ】をクリック

6 ウィザードの設定確認

項目	現在の設定	新しい設定
UI言語	browser	browser
ホスト名	raab2	ratic-server
IPアドレス	自動取得	自動取得
サブネットマスク	自動取得	自動取得
デフォルトゲートウェイ	自動取得	自動取得
DNSサーバー	プライマリ セカンダリ ターシャリ	自動取得 プライマリ セカンダリ ターシャリ
日付と時間	4/14/2010 2:4 PM	4/14/2010 2:4 PM
タイムゾーン	Osaka	Osaka
NTPサーバー	none	none

内容を確認後、【保存】をクリック

設定した使用モードと環境設定は、マスターディスク(下段)に保存されます。シングルモードでHDDを交換してご利用になる場合、間違っても上段/下段ともにマスターディスクを装着すると、下段のHDDをマスター、上段のHDDは未フォーマットディスクとして認識します。間違い防止のため、トレイのフロントパネルに製品添付のインデックスシールを貼り管理することをお勧めします。



5. 共有フォルダーへのアクセス方法

5-1. 共有フォルダーの開き方の一例を紹介します。

- 本製品のホスト名を“ratic-server”とした場合で説明します。
※ホスト名の確認・変更は、管理設定メニューより【ネットワーク設定】→【LAN設定】にておこなえます。ホスト名を変更していない場合は“sadm2”となります。
- 手順4-3.のウィザードを完了した直後は、アクセス可能なフォルダーとして、【admin】、【guest-share】、【public】が用意されます。
※【admin】、【public】フォルダーは、アクセス制限がされているためパスワードを要求されます。手順4-3.②で“新しいパスワード”を変更しなかった場合、ユーザー名【admin】、パスワード【admin】と入力するとアクセスできます。【guest-share】には、ユーザー名・パスワードとも空欄でアクセスできます。

Windows 7/Vistaの場合

※画面例は、Windows 7です。Windows Vistaでは若干画面が異なります。

- ①【スタート】をクリック
②「¥¥ratic-server」と入力し、【Enter】キーを押す
- 本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
※手順4-3.のウィザードを完了した直後は、【admin】、【guest-share】、【public】フォルダーが表示されます。
- アクセスするフォルダーをダブルクリックします。

Windows XP/2000の場合

※画面例は、Windows XPです。Windows 2000では若干画面が異なります。

- 【スタート】→【マイネットワーク】またはデスクトップ上の【マイネットワーク】を右クリックし、【コンピュータの検索】を開きます。
- “コンピュータ名”に「¥¥ratic-server」と入力し、【検索(または検索開始)】をクリックします。
- 検索されたホスト名をダブルクリックします。
- 以降の手順は、上記「Windows 7/Vistaの場合」の手順②と③を参照してください。

Mac OSの場合

- Finderのメニューバーより【移動】→【サーバへ接続】を開きます。
- サーバアドレスに「smb://ratic-server」と入力し【接続】をクリックします。
- 画面の指示に従って、ワークグループ名、ユーザー名、パスワードを入力し、アクセスするフォルダーを選択します。
※手順4-3.のウィザード完了直後は、ワークグループ名に「WORKGROUP」と入力します。ユーザー名・パスワードは、上記5-1.①を参照してください。

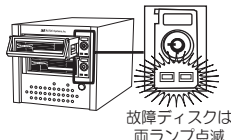
5-2. 以上で、本製品を共有して使用できます。

※共有フォルダー設定時は空のフォルダーとして表示されます。
その他、お客様の用途に応じて設定をカスタマイズしてください。
※設定方法は、製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアル(各編)を参照してください。

- 省電力モードを設定する。 ▶ 「導入編」参照
- 特定のユーザー名でアクセス可能なフォルダーを作成する。ハードディスクに障害が発生したとき、メール通知する。 ▶ 「操作編」参照
- 背面USBポートを活用する。(プリンター/HDD接続) iTunesサーバ機能を活用する。 ▶ 「運用編」参照

ディスク異常時の対応

ディスクが故障した際は、故障したディスクのマウントランプとアクセスランプが点滅します。
故障ディスクは、早急に新しいディスクに交換してください。交換手順は製品添付CD-ROM内のユーザーズマニュアル「異常時の対応」を参照してください。

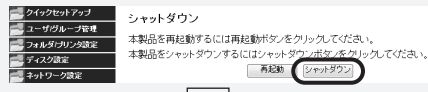


必ず守ってください

本製品の電源を切るときは、管理設定メニューのシャットダウンを実行してください。

本製品のシャットダウン

- 管理設定メニューより【システム管理設定】→【シャットダウン】にて、【シャットダウン】をクリックします。
※他のユーザーがアクセス中でもシャットダウンされます。ご注意ください。
- シャットダウン処理中、SYSTEMランプが点滅します。処理(数秒間)が完了すると、本製品の電源は自動で切れます。



使用上の注意

- 本製品はパソコンにUSB接続して使用することはできません。
 - 本製品にハードディスクは添付していません。
 - 本製品の電源をOFFにする場合は、Webブラウザ上の管理設定メニューからおこないます。
 - 動作中に本製品の電源スイッチ(本体背面)を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になったり、データを消失する恐れがあります。
 - 本製品のトレイはホットプラグに対応していません。ディスクを交換する際は、管理設定メニューのシャットダウンを実行し、本製品の電源が切れてから交換してください。
 - セットアップ時や使用モード変更時は、ハードディスクをフォーマットする必要があります。ディスク上のデータは消去されますのでご注意ください。
 - 同じパソコンから複数のユーザー名で同時にアクセスすることはできません。
 - 本製品はローカルネットワーク上で使用してください。インターネット経由のアクセスは、サポート対象外です。
 - 本製品は起動ドライブとして使用できません。(本製品に取り付けたハードディスクからOS起動はできません。)
 - NTFSフォーマットはシングルモードのSlaveディスクのみ対応です。管理設定メニューの(ディスクの管理)-(ディスクの管理)からNTFSフォーマットすることはできません。
 - FAT32は1ファイル最大4GBまでとなります。
 - Jumbo Frame 16000Byte対応のハブには接続できません。
- USB機器接続時
- USB2.0(Hi-Speed)でご利用になるには、ご使用のUSB機器がUSB2.0(Hi-Speed)に対応している必要があります。
 - 接続するハードディスクの対応フォーマットはFAT32,EXT3,NTFSになります。exFATフォーマットには対応していません。
 - USBストレージ機器(ハードディスク、USBメモリ、カードリーダー)やカードリーダー搭載プリンターを使用する場合は、本製品が起動してから接続してください。接続したまま本製品を起動するとシステムが起動しません。
 - USBハードディスクを取り外す場合は、必ずWebブラウザ上の管理設定メニューからディスクの取り外し操作をおこなってください。
 - USBプリンター複合機はプリンター機能のみ対応しています。
 - USBプリンター、USBプリンター複合機(プリンター機能のみ)はWindowsのみ対応となります。
 - 本製品にハードディスクがマウントされていない状態でプリントサーバ機能は使用できません。
 - 接続可能なプリンターは1台のみになります。
 - USBハブを使用する場合、4ポートまでのセルフパワータイプを使用してください。
- RAID1使用時
- リビルドを実行する場合は、Webブラウザ上の管理設定メニューからおこなってください。
 - リビルド中は本製品の電源を切らないでください。
 - リビルド中にパソコンのシャットダウン、スタンバイ/休止/スリープ/サスペンド(パソコンの省電力設定)をおこなってもリビルドは中断されません。本製品の電源をOFFにすると、リビルドは中断され、再起動後は最初からリビルドを開始します。
 - 障害の発生したディスクを交換する場合、そのディスクと同じ容量のディスク(同型番を推奨)もしくは、それ以上の容量のディスクを使用してください。
- シングルモード使用時
- Master側(下段)には必ず、マスターディスクとなるハードディスクを装着する必要があります。
 - Slave側(上段)はハードディスクの追加専用となります。単独では使用できません。
 - マスターディスクにのみユーザー固有の共有フォルダーを作成することができます。スレーブディスクは全ユーザーがアクセス可能な共有フォルダーのみの使用となります。
- 交換トレイについて
- 弊社製REX-SATAシリーズ用トレイを使用してください。
 - 弊社製REX-Dockシリーズ用トレイは使用できません。
 - 弊社製SA-35TRIDE/SA-35TRAIDEシリーズ(IDE変換トレイ)では使用できません。
 - 他社製のトレイは使用できません。
- その他
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないように充分注意して作業をおこなってください。
 - コンピューターウイルス感染や操作ミスによるデータ損失を防ぐことはできません。
 - 停電を起因とするデータ損失を防ぐことはできません。
 - 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
 - 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡くださいませうようお願いいたします。
 - 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。
 - 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
 - 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容を正確の上、大切に保管してください。
 - 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承願います。
 - 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
 - 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
 - 本製品および本マニュアルに記載されている会社名および製品名、各社の商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記しておりません。

その他、安全にご使用いただくための注意事項、お問い合わせ、修理などについて“ユーザーズマニュアル”(PDF形式)に記載しています。必ずご参照ください。

ラトックシステム(株) サポートセンター TEL06-6633-0190/03-5207-6410 (土日祝、指定日除く 10-19時, 14-17時)